

平成27年11月15日執行 郡山市選挙区 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

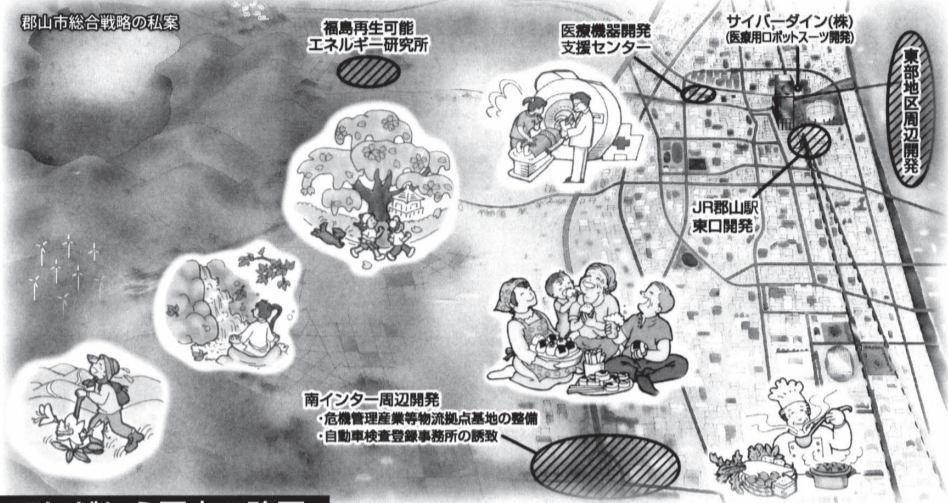
てしがわら正之は郡山の声を県政へ
 「環境と健康と観光が交流する医療都市郡山」の実現に向けて！

**“地方創生
 新たな飛躍へ”**



てしがわら
 まさゆき
 正之

自由民主党
 昭和27年3月17日
 63才生



- てしがわら正之は、地域のために全力をつくし魅力あるふるさとをつくります。
- てしがわら正之は、
 - 1、若者が帰ってこれる“雇用づくり”
 - 2、住み続けたい魅力ある“地域づくり”
 - 3、暮らしやすい地域を支える“人づくり”
 に取り組みます。

てしがわら正之の略歴

昭和27年 郡山市で生まれる	昭和45年 福島県立安積高校卒業(第83期)	昭和49年 日本大学工学部土木工学科卒業	昭和49年 郡山市役所奉職	平成6年 郡山市役所退職	平成7年 郡山市議選初当選	平成11年 郡山市議選2期当選	平成15年 郡山市議選3期当選	平成19年 福島県議会議員初当選	平成23年 福島県議会議員2期当選
----------------	------------------------	----------------------	---------------	--------------	---------------	-----------------	-----------------	------------------	-------------------

■趣味 読書・旅行・映画鑑賞
 ■信条 物事を最後までやりぬく
 ■好きな言葉 楽天知命

民主党公認 社民党支援 連合福島推薦

政治は、生活と直結！

これまで、これからも…

郡山のため、県政とのパイプ役となり働きます



佐久間
 としお
 県議会議員一期・市議会議員四期

安心 して生活できる福島

- ◆水害に強い街づくり
- ◆地域の交通安全・防犯・防火対策の推進
- ◆地元中小企業への支援充実と新規産業集積による雇用の安定と創出
- ◆保護者・学校・地域が一体となった福島の未来を担う子どもたちの育成
- ◆再生可能エネルギーをはじめとするエネルギーを取り巻く情報の正確な発信

いきいき と生活できる福島

- ◆女性の活躍促進
- ◆働く人がいきいきと働ける職場環境づくり
- ◆子どもからお年寄りまでお互いに支えあえる地域ネットワークづくり
- ◆風評被害の払拭と福島ブランドの強化による農業活性化
- ◆元気な「ふくしまっ子」育成に向けたスポーツ振興と食育の推進

根本潤は、ふくしまにこの先の「30年の仕事」を創ります



“三大産業”を育て強化し、それを支える(教育)医療・福祉(街づくり)の問題を解決し、若い世代が集い働ける、この先の「30年の仕事」を実現します。

こおりやま“三策”

中心部過疎化対策 公共交通整備 湖南町ビジネス拠点化

略歴 1972(昭和47)年7月26日生(農家の三男)／大槻町在住
 県立清陵情報高校卒(一期生、野球部)／東洋大学経済学部卒
 医療機器関連企業10年勤務／放送大学教養学部選科履修生
 埼玉県議会議員選挙立候補(2011年、川口市選挙区、無所属)
 福島第一原子力発電所事故収束作業従事(1年2ヵ月)

http://www.30年の仕事.jp



政治の役割は「舞台」を守り創る事だと思えます。今、その舞台の基本である「働く」環境が悪化しています。長く働き続ける事、将来を見通し働き続ける事が難しい時代になってしまいました。根本潤は母子家庭に育ち、食べて学んで生きていくことができました。それは母親が安定した仕事に就き、長く働くことができたからです。根本潤は長く安心して働ける環境に支えられ成長することができました。震災と原発事故後、福島県には数多く問題があります。根本潤は仕事を創る事を第一に取り組み、その問題解決の突破口にします。まずは若者が安心して長く働き続けられる仕事と雇用環境、未来に向かって続く、この先の「30年の仕事」を実現させます。そして、若者が家庭を持ち、子どもを育てられる舞台(福島県)の基礎を創ります。



根本潤
 ねもと じゅん
 無所属 43歳

平成27年11月15日執行

郡山市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



日本共産党 神山えつこ

原発事故から4年半すぎても事は収束せず、くらしは大変です。原発再稼働・賠償打ち切り、戦争法強行の安倍政権は許せません。くらし・平和を守る県政へ、いっしょに政治を変えましょう。

神山えつこへ



県予算約2兆円をくらし応援に

学校給食費は

無料・軽減を
無料へは約80億円

医療・介護職員の待遇改善で
介護施設を増やす

国保税引き下げを
(1世帯1万円引き下げ約30億円)

特養老人ホーム待機者ゼロで、
約2400億円の仕事創出。

国・東電・県へ実施をせまります

精神的苦痛、営業賠償、風評
すべての被害へ賠償を

がん検診無料化、除染

健康不安に対策を

TPP撤退、消費税10%の中止を

戦争法廃止の国民連合政府を

日本共産党は、「戦争法」(安保法制)廃止の国民連合政府をつくること、そのために一致する野党が、国政選挙で協力することをよびかけています。

神山えつこ略歴▶1955年生まれ。郡山女子高校卒。國學院大学II部中退。県議4期。党県議団長。▶事務所 郡山市桑野3丁目19-14 電話 024-926-0435

Active Hope ～行動することによって生まれる希望～



保守系無所属

ありかわ

有川りえ子

国会議員秘書、八年間の
地方議員の経験・人脈を、
福島のために役立てたい！

松沢しげふみ事務所秘書
東京都世田谷区議会議員
新潟県田上町議会議員

① 復興予算の活用

国の復興予算は、数兆円規模で復興のために使われずに繰越されて国庫に残っています。しかし、復興は十分でしょうか？復興予算が活用されないのは、福島に政治に、政策立案能力・実行力が欠けているからです。このままでは復興は十分と、予算は削られてしまいます。私は、この予算を、専門家と協力のうえ具体的な政策をつくり、国と折衝して活用、元氣な福島の未来を築き上げることを提案実行します。

② 絆（きずな）の再生

福島は、原子力災害の発生により、若者の他県への移住が加速し、未曾有の高齢化と人口減少を経験します。住民が散り散りになった状態では復興への活力が出ません。若者が得意とするインターネットを利用したソーシャルメディアの使い方を年配層へ教える市民運動が広がっています。その普及を通じて、失われた地域コミュニティを再生し復興への基礎とします。

③ 再生可能エネルギー

福島県は、国のエネルギー政策へ協力し、原子力発電所の設置を受け入れました。私は、前職の新潟県田上町議会議員のとき小水力発電に取り組んだ実績があります。福島県知事を助けて、風力・太陽光等の自然エネルギーを活用した発電を普及します。電力先進地域として、原子力に依存しない持続的に発電可能な発電方法のモデルを示し、世界中から視察に訪れるような模範となる福島県に致します。

④ 風評被害対策

「子供を安心して生み育てられる福島」「福島の農産物を国内外へ販促」「福島への国内外からの観光客の誘致」「福島の中小企業の振興」を実現するためには「風評被害」を克服しなければなりません。原子力規制庁・東京電力などの各組織と協力関係を結び、世界の有識者へ福島へ来ていただき、現場を見てもらい、正しい知識を伝えることで、風評被害を克服します。



自民党公認

山田平四郎

六十二歳

○主な経歴

- 一、昭和五十二年三月 明治大学商学部卒業
- 二、平成二十三年十一月 福島県議会議員当選

地域のため、郷土発展のため

果敢なる前衛 全力投入!!

「一期四年の経験をかかし、郷土のため、山田平四郎は四つの誓いをたてました。」

1、力強い農林水産業の創造

頑張る農業者、生産者の支援を強化、基盤をしっかりと固め、足腰の強い農業の確立のため、全力で取り組みます。震災から約5年となりますが、いまだ風評被害はおさまらず、その対策の強化に努め、地産地食の推進に全力投球！

2、教育先進県ふくしまの確立

子ども達が伸び伸びと育つよう、その環境の整備に思いっきり努めます。

その為に、幼児教育から高等教育までの連携を強化し、学力・体力のさらなる向上を目指し、教育の先進県といわれる頼もしい福島県になるよう、全力投球！

3、健康・医療・福祉を充実

元気で明るく楽しい人生が送れるよう、地域医療の整備、充実が大切。そのために医療・看護師の確保は言うに及ばず、未来にわたって県民の心と身体を守るため全力投球！

4、商工観光産業の強化と雇用の創出

美しい自然が自慢の福島県。住んでよかったと思える地域の働く場を創出し、企業への支援体制の強化と共に、復興拠点との連携強化による、新たな産業の集積のため全力投球！

平成27年11月15日執行

郡山市選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



佐藤のりやす

六十二歳

まっすぐ、のりやす。

復興とその先に続く未来のために まっすぐに取り組んでいきます。

この4年間、県民の皆さんとともに、福島の再生復興に全身全霊をかけて取り組んでまいりました。完全復興への道のりは未だ道半ばですが、県内各地で明るい兆しも見え始めています。

しかし、この希望の光を「復興特需」という一時的なものに終わらせてしまつてはなりません。議長・県議5期として培ったこれまでの実績と経験、政府や自民党本部との強いパイプを生かし、次代を担う子どもたちのために、将来に「夢を持てるふくしま」にするため、復興の先を見すえた県政運営に「まっすぐ」に取り組んでまいります。

1 復興の“先”をまっすぐ見すえて

- 復興予算の被災地負担額の縮小
- 新たな産業モデルの誘致・構築
- 災害に強いふるさとづくり

2 再生可能エネルギー立地県として

- 原子力から再生可能エネルギーへの変換推進
- 再生可能エネルギー100%社会の実現
- 廃炉作業の安全かつ着実な進展

3 多種多様な農業をめざして

- 風評被害の歯止めと防止
- 高品質化・ブランド化の推進
- 6次化産業の推進

4 充実した福祉・子育て社会をめざして

- 医療・福祉政策の充実
- 世界に羽ばたく人材の育成

福島県の誇りと輝く未来を創る

～守ります！子ども達の未来を！！～

《5つの約束》

①教育、子育て支援を充実させ、次世代の人づくり

・子ども達が自ら考え自ら行動できる発想性を生かした教育環境づくりや親の貧困や子育て放棄により子どもの生活や学びに不利益を受ける事がないよう支援する。

②歴史、文化、自然を活かし、誇りあるふるさとづくり

・地域の歴史を掘り起こし次世代に伝える事により地域の誇りを再発見する。

③農業、商業、産業創出を通し、活力ある福島県づくり

・各種研究開発、産業創出拠点整備を進めると共に福島の農産物の魅力や安全管理の取組みをメディアなどで国内外へ発信する。

④女性、若者が輝ける社会づくり

・仕事と子育ての両立が出来る環境づくりや技術職、ものづくりの職業で生活が安定できるための支援をする。

⑤高齢者が安心して生活できる地域づくり

・元気な高齢者が生きがいを持って働き、学べる環境づくりと共に地域で高齢者が生き生き暮らせる地域包括ケアシステムの推進を図る。



自民党公認

長尾トモ子

40年以上の幼児教育、逢瀬川、猪苗代湖の環境活動やYOSAKOIを通して「人と地域づくり」を長年続けて来ました。又、原発事故後、子どもの放射能対策やベラルーシ国との交流を通し、子ども支援と国際理解の推進をしています。

長尾トモ子のあゆみ

- S23. 8. 郡山市に生まれる。郡山市立富田小・第六中・安積女子高校(現黎明高校)を経て、郡山女子大学短期大学部保育科卒業。
- S44. 4. 知的障害施設ばんだい学園の保母として勤務。(3年間)
- S48. 4. 学校法人今泉学園双葉幼稚園教諭主任。(14年間)
- S63. 2. チャイルドハウスうねめ保育園を開園。(29年目)
※郡山食品工業団地はなさと保育園園長、学校法人志賀学園並木幼稚園副園長なども兼任。
- H17. 4. 自民党公認で福島県議会議員補欠選挙初当選。
- H19. 4. 2期目当選。(自民党県連・広報副委員長)
- H23.11. 3期目当選。(商労文教委員長)
原発事故後ベラルーシ国の招待で福島の子ども達50人を派遣し福島を支える子ども支援と国際交流。

福祉・環境・人づくりを女性の視点から！



自由民主党公認
やぎぬまじゅんこ
柳沼純子

1 福祉と介護の推進

家族を介護して来た立場から福祉・介護の現場の声に耳を傾け、子どもからお年寄りまでのすべての人々が健康で安心に暮らせるまちづくりを目指します。

2 生活環境の改善

生活の基本である食の安全安心はもちろんのこと、生活排水・リサイクルなど身近な環境問題を生活者としての立場から考え、次世代を担う子どもたちのために、よりよい生活環境づくりを目指します。

3 教育と人づくりの充実

未来を担う子どもたちを健やかに育てていくための教育制度の充実と、女性の視点から男女共に活躍できる魅力溢れる地域社会づくりを目指します。

今後の取り組み課題

- ◆県内原発の全基廃炉と復興・再生
- ◆徹底したモニタリング・除染などの県土再生
- ◆安全・安心・活力ある地域社会創り
- ◆日本一の子育て環境創りと教育先進県ふくしまの実現
- ◆強い農林水産業の再生の推進
- ◆活力・発展を続ける商工業づくり
- ◆全ての資源を観光につなげる交流の増進
- ◆新たな産業の革命(各分野ロボットなど)
- ◆県土基盤づくりと地域格差の解消

郡山南IC周辺の開発を積極的に推進します！

平成27年11月15日執行
福島県議会議員一般選挙選挙公報
 郡山市選挙区
 福島県選挙管理委員会



公約実現ナンバーワン! さらに、働きます

いまいちばんあなたを守ります!

「政策は実現するためにある」をモットーに、全力で働いて参ります。



ひさとし
いまいち
久敏

いまい久敏の公約

- 福島復興の加速化推進
- 人が生きる、地方創生の実現
- 支え合い、一人を大切にす健康長寿社会の構築
- 安心・安全な地域づくりに全力
- 教育・文化・スポーツの充実強化

プロフィール
 ■出生/1953年11月12日、宮城県生まれ(62歳)
 ■学歴/郡山市立赤木小学校、郡山市立第五中学校、県立郡山西工業高校(現 郡山北工業高校)卒業
 ■経歴/ジョンソンエンドジョンソン(株)入社。(昭和60年4月科学技術庁長官賞受賞)平成7年2月退社。郡山市議会議員(3期)、福島県議会議員(2期)

■現在/公明党福島県議団幹事長、公明党福島県本部幹事長、福祉・公安常任委員会委員長、政務活動費検討委員会委員、咲田第二町内会長、芳山方部町会連合会会長、郡山中央町内会連合会理事、芳山地区保健委員会副会長、平和通り商店街顧問、中央工業団地会顧問、全日本不動産政治連盟顧問

全力県政! 明日への責任



民主党 現職
しいね健雄
 たけお
 38歳

福島の発展に勇気をもって挑戦! 幸せに住める社会の実現。

震災から4年半が過ぎました。未だ10万人を超える方々が避難生活を余儀なくされ、原発事故の罪深さを思わずにはいられません。同時に、原発災害という厳しい状況にある福島県だからこそ、未来に向かって夢を描き、力強く歩む事が必要です。これからの福島の4年間は、新生ふくしまを形づくり、具体的に目に見える形で県民の皆様を示していく大事な時期となります。産業面では郡山市を中心とした地元企業の育成、集積が重要です。福島に生き、地域に暮らすたくさんの仲間たちとともに、福島の復興、産業と農業、子育て支援を含めた暮らしの発展に取り組む覚悟です。この福島を豊かな未来へとつないでいける様、全力を尽くして参ります。

重点取り組み「次世代へ向けて」

- 子どもたちの未来のために**
18歳以下の医療費無料化継続、教育・学力向上。環境回復、甲状腺検査体制充実と情報開示。
 - 地域産業支援と雇用の確保**
税特区導入、融資の円滑化。震災前より福島に根をはり頑張る企業、農家への支援を優先。
 - 未来型都市と新産業の創出**
民間産業活性化に貢献しうる再生可能エネルギーや先端医療を後押し。環境・医療・福祉に重点。
 - 次世代へつなぐ農業**
風評やTPPから農業を守り、農業救済に主力。食の安全安心確保へ信頼できる検査体制充実。
- 福島第一原発の収束に向けて**
福島第一原発が更地になるまで声を上げ続けます。

各投票所の投票できる時間は、次のとおりです。

■当日投票所

郡山市選挙区全投票所

7:00 から 20:00 まで

■期日前投票所、不在者投票所

原則として

8:30 から 20:00 まで

※ 一部、異なる場合があります。

詳しくは、郡山市選挙管理委員会にお問い合わせください。

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。